

題材 「は」「を」「へ」どれを使う？ 1時間中の第1時

(1) 学習のねらい

助詞の違いは何だろうと疑問に思っている子どもたちが、「は」「を」「へ」を使った文章の意味を考えることを通して、助詞が変わると文章全体の意味が変わることに気づき、「は」「を」「へ」を正しく使って文章を書くことができる。

(2) 本時の学習材

助詞「は」「を」「へ」を変えることで、別の意味になる文章

- 子どもたちは、「は」「を」「へ」がどんな言葉にくっついているか振り返る中で、文章に使ってみたいと思うだろう。そのような意識を捉えた所で、本学習材を提示する。
- 本学習材は、助詞「は」「を」「へ」を変えることで、別の意味になる文章である。子どもたちは、「は」「を」「へ」の意味合いの違いについて考えるだろう。さらに自分たちで文章を考えて書いてみたくなるだろう。このように、文章で「は」「を」「へ」を正しく使うことができる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 「は」「を」「へ」はどんな言葉にくっつく？	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」の後にくっつくよ。 ・〇〇は、「は」と「を」のどっちもつくね。 ○色々な言葉にくっついてるね。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○「は」「を」「へ」を板書し、どんな言葉にくっつくか考える。 学習材 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 助詞「は」「を」「へ」 を変えることで、別の意味になる文章 「〇〇ははこぶ 〇〇をはこぶ 〇〇へはこぶ」 </div>
	2 学習材の3つの文章の意味の違いを考える。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習問題 「は」「を」「へ」の違いは何だろう？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「は」は運んでる人。 ・「を」は運ぶ物の後につく。 ・「へ」はその場所に運ぶこと。 ○文字1つで意味が変わるんだね。 	15	
展開		学習課題 「は」「を」「へ」を使った又草を比べ、意味の違いを考えよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・「は」「を」「へ」のどれにもつく名詞が出たら、学習材を用いて、文章の意味を考える。 ・電子黒板を用いて、「〇〇は・を・へはこんだ」其々の場面を動画にしたものを見せ、どの助詞が場面に応じているかを考える。 ・穴のある文章に「は」「を」「へ」のどれを入れるか考え、記入する。 ・文章を書きにくそうにしている場合、最近の出来事を振り返るなどサポートする。
	3 ワークシート 穴埋め問題解く 文章を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ここには「は」が入るんじゃない。 ・こんな文章を考えてみたよ。 ○助詞を変えたら意味がかなり変わるね。 	15	
終末	4 考えた文章を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・面白い文ができたね。 ・〇〇君の文と僕の文を続けると、面白くなるよ。 ・この文の助詞を変えると、どんな意味に変わるかな。 	10	評価 「は」「を」「へ」の違いを考え、文章で正しく使うことができる。 (ワークシート、発言)